

大阪市立江  
戸堀幼稚園

## 膳先生銅像除幕式の日

楓 一子

變遷といふ事には二様の見方がある。新しくなつて行くといふ事と忘れられてゆくといふ事とである。

十二月風寒い四日、冬空のひどい冷たさを感じる日の午後、師を思ふ心、師を慕ふ心、師に報ゆるの心、思ひの暖い心をよせて大阪市西區江戸堀幼稚園に集つた人々は無慮六百人を算へられました。



膳先生壽像

紅白の幔幕が美しく引きまわされて、一段と高い正面左手につまじやかに數十年來の榮えある活きた歴史を物語る膳先生が御坐りになつてゐられる。右手には斯界の天才と云はるゝ渡邊先生が御鑄造なさつた膳先生の壽像が置かれてある。

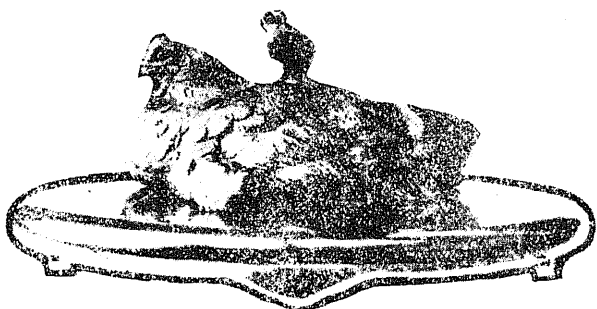
定められた様に式の順序は進んで行く。

然し私達は日々に更に新しく然もたえず追憶し乍らすすみゆくといふことを望みます。

知事市長さては京阪神遠くは東京岡山邊よりわざわざ來られた方々の祝辭、日本各地よりの祝電數へ

切れぬ程でありました。

祝ひの言葉が壇上から響く度毎に、會衆は一樣によろこびの拍手を以て迎へられた。先生は終始謙遜なうなづきを以て答へられてゐた。



牝鶴雛置之物東京波邊長男氏作

時間の制限が多  
くの人に充分の祝  
詞をのべるべき時  
を與へなかつた  
が、更に委員の方  
の御話によるごあ  
の様に一人二分間  
ご制限しても、更  
に人數が餘るの  
で、随分希望者  
を除去した相でし  
た。

何に多きかを物語るに充分であらう。

四時といふに式は閉ぢられ茶菓辨當の饗應にあつ

先生の高德、先  
生の慈愛を祝は  
んとする人々の如

かつた。三々伍々いづれも先生の御祝の會話が交へられ乍ら退場されました。

銅像及銘は別掲の通りであります。

私はこゝに其日の一端を記して筆をおかんとする前に忘れてはならぬ事があります。

古い法則に偉人賢人の後には、又その偉人賢人を撫育した偉人賢人がある。

誠に膳先生に於ても其法則が首肯される。

其道の爲につくせ、其道の爲に學べ、其道の爲に祈れ、その道の爲にその道の爲に今日に夜に先生が初めて大阪府立模範幼稚園保母となられた明治十四年十一月十四日の時から今日まで教へ導かれた吾國保育界の隠れたる偉人令姊、氏原鏡先生（醫學博士、氏原均一氏母堂）のある事を忘れてはならぬ。

私は年の瀬が近よつて來る十二月といふ時、然も靜に、吾保育界空前の出來事である保母膳先生の銅像除幕式の日を迎へた事を何となしにうれしい氣分がした。

愛は永久におつる事はない。愛はすべてのものを生かしてゆく。愛のない處には建設もない創造もない。

先生の愛に生きて行く多くの人々を今眼の前に見た先生は、どんなにうれしかつたでせうか。  
先生はかくして昨日も今日も又明日も永く天壽を全ふし吾保育界の爲につくされん事をのみ祈る。

頌徳文

膳女史東京人明治十四年爲大阪府立模範幼稚園保姆後轉江戸堀幼稚園鞠育撫養四十餘年園兒親愛如慈母居常好學研修不倦接人惻切持己溫恭識德共熟令聞洽及世推爲儀表頃者江戸堀教育會員胥謀銅製女史像茲卜教育勅語發布後三十年之吉辰建之以傳其績於不朽云爾 文部次官從四位勳二等 南 弘 撰

たゞ一言

私は長き年月幼児教育に従事いたして居ります。が、たゞ長いと申す名目計でございまして、何等これと申て功績も得擧げて居りませす徒らに後進者の前途を遮つて居るのでございませす。それにもかゝはらずこの度盛大なる表頌式を舉行して頂きました事は、全く自分一人の力ではございませせん。皆々様方の御同情御援助によりまして今日ある事を只管感謝い

贈呈品箱書の寫

膳先生多年始終一貫保育上に盡されし事を表獎せんが爲め江戸堀幼稚園に先生の壽像を造り之を同園内に安置せり其作製方を不肖に依囑せらる同時に江戸堀教育會は此事を紀念せんが爲め置物贈呈の議成り再び余に需めらる依而先年御前謹製御嘉納の牝鷄育雛の置物こそ其保育の意味に於而又本年は酉年に相當するの故を以て恰好のものと思ひ再び是れを鑄鑄して需めに應ずる事とせり。

大正酉年秋の日

長 男 識

大阪市江戸堀幼稚園

膳 ま き 子

たして居る次第でございませす。私は何よりも一番好きな天職に従事いたしまして今日まで子供の友達と成て凡てを子供より學び、出來得る限り子供の理解に努め毎日愉快に楽しく面白く暮して居ります。身の幸福を日夜感謝いたして居るのでございませす。これに酬ひ奉らんには益々幼児教育のため研鑽努力いたしまして子供のために盡したいと存じます。